

新型コロナウイルスワクチン接種実施計画

令和3年4月15日

北海道清水町 保健福祉課 健康推進係

※本資料は、現時点の計画内容であり、今後、
国の通知、事業の検討・調整状況により、
内容を変更する場合があります。

清水町における接種体制（想定）

- 集団接種と個別接種を組み合わせ接種を行う
- 集団接種は、
清水赤十字病院の協力のもと、文化センターで実施する
土・日曜日に開設 文化センター 9時～17時
- 個別接種は、
清水地区は前田クリニック、だい内科医院を中心に行う
御影地区は御影診療所を中心に行う
平日の午後に実施（一部土曜日も予定）
- 予約は、集団接種・個別接種ともにコールセンター（町設置）が受付

新型コロナウイルスワクチン接種 概要

新型コロナウイルスワクチン接種概要について

- 【清水町人口】 9, 252人（令和3年3月末現在）
[高齢者：3,448人、その他一般：5,804人（うち16歳未満：1,012人）]
- 【接種率の想定】 約80%
- 【接種会場】 清水地区：（集団接種）文化センター
（個別接種）前田クリニック、だい内科医院
御影地区：（個別接種）御影診療所
- 【接種期間】 高齢者施設等の入所者（従事者含む） 令和3年4月26日～
高齢者（65歳以上） 令和3年5月16日～
基礎疾患のある人 令和3年 月～
その他一般 令和3年 月～

清水町ワクチン接種のコンセプト

- 速やかに接種できる体制を確保
- 平日忙しければ土日に接種可能（集団接種）
- 近くの医療機関で接種可能（個別接種）

事前通知から接種までの流れ

1. 事前周知 《3月15日》	町広報、町ホームページ、防災無線、新聞折込等で町民に周知 (1回目) 準備状況等のお知らせ
2. 接種券等の発行 《4月》	コールセンターの開始(4月1日開始) 接種券やお知らせを対象の高齢者(3,500人)に送付(4月下旬)
3. ワクチンの配分	①ワクチン割当てを受け、町が受領。 ②町の拠点(保健センター)から接種会場や医療機関に小分けして割当 (町が接種量調整、V-SYS入力)
4. 接種会場 予約方法の周知	「コロナワクチンナビ(V-SYS)」、町ホームページ等にて広く周知
5. 予約開始 《5月初旬》	集団接種・個別接種ともに予約専用電話、WEB予約システム
6. 接種	予約した日時・会場にて接種

集団接種について

文化センターでの集団接種

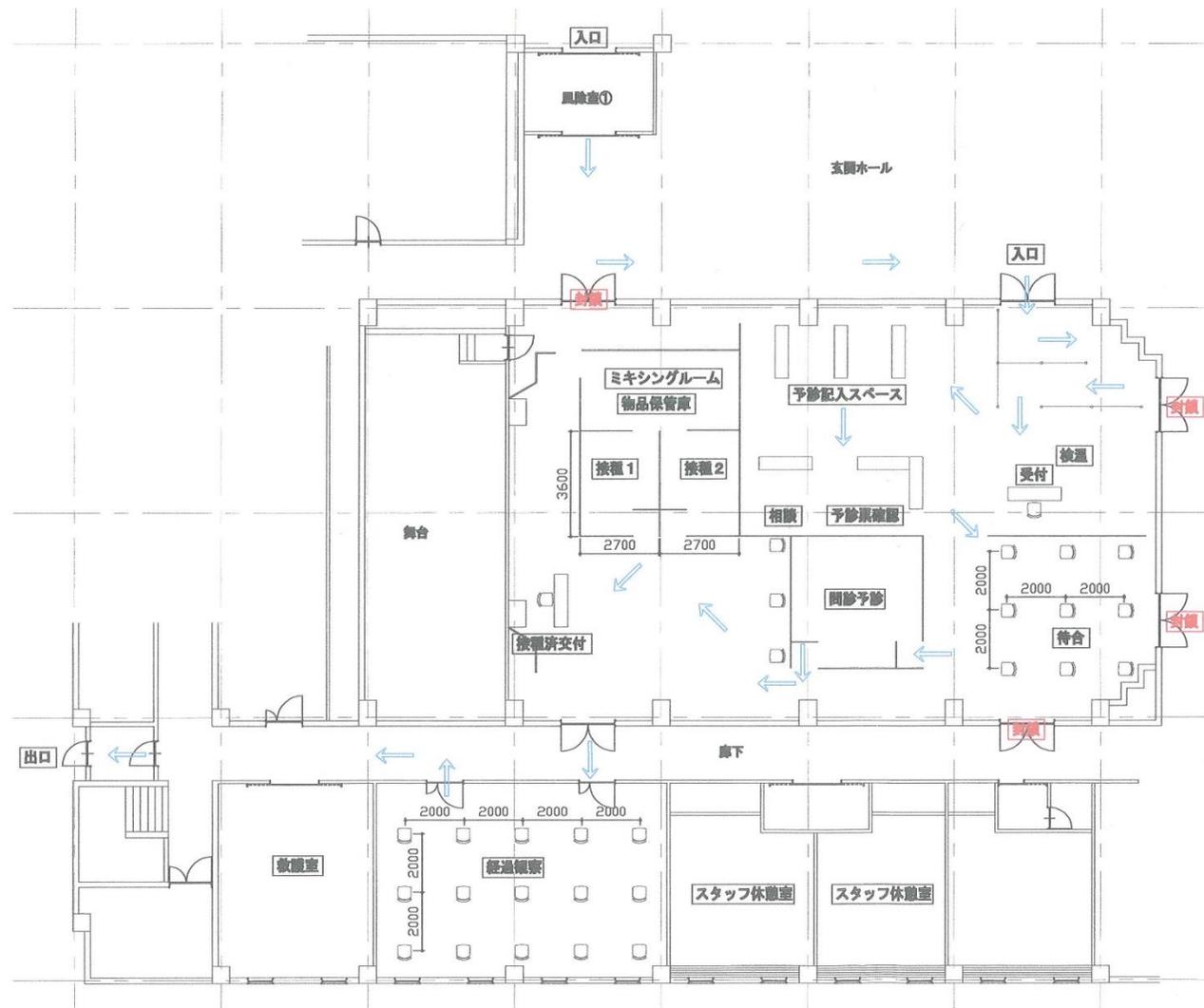
【当日の流れ】

- ①受付・記録
- ②検温・予診票記入確認

※相談コーナー

- ③予診・問診
- ④接種（2ライン）
- ⑤接種済証発行
- ⑥接種後状態確認

受付から接種を完了するまで
『1人8分』を想定
受付から状態確認終了まで
『1人23分』を想定



個別接種について

個別接種の流れ

医療機関

【ワクチン接種施設】

①見込数を町に報告

⑤予約数の確認

⑦冷蔵で保存

⑧接種

⑨接種実績の報告

⑩接種履歴の入力

予診票を基に町のシステムに入力
※国からタブレット配付予定あり

清水町

【ワクチン保管施設】

②V-SYSで発注・
ワクチン保管

③接種予約を受付

④予約数を医療機関に報告

⑥ワクチンを配送

接種対象者ごとの調整について

高齢者施設等入所者および訪問診療受診者への接種

●町内高齢者施設等入所者【〔 〕内は定員】

- ・特別養護老人ホーム（2施設）　せせらぎ荘（地域密着型 [29床]、広域型 [60床]）
- ・介護老人保健施設（1施設）　老健みかげ [29床]
- ・グループホーム（4施設）　さくらさくら [9床]、せせらぎハウス [9床]、
松寿苑 [9床]、うらら [18床]
- ・接種予定者数　（入所者数）**約220名**　（従事者数）**約180名**

●町内訪問診療受診者

- ・訪問診療を実施している医療機関等　清水赤十字病院、前田クリニック、御影診療所

※高齢者施設については、当該施設の嘱託医・施設医等が施設を訪問しワクチン接種を行う。従事者については、希望を確認したうえで、ワクチン供給が潤沢であった場合で接種体制が確保できた場合に接種する。

※訪問診療を受けている患者への接種はワクチン供給量により調整するが、原則、その主治医が接種を行う。

一般の高齢者、基礎疾患を有する人、一般の町民への接種

●一般の高齢者（自立可能）

- ・ 集団接種会場または個別接種会場を利用してもらい、ワクチン接種を行う。

●基礎疾患を有する人、一般の町民

- ・ 国の定める優先順位に従って、集団接種会場または個別接種会場を利用してもらい、ワクチン接種を行う。

※国が接種順位と接種の時期を公表し、順次接種していくこととなっているため、国の示す接種順に従ってワクチン接種を実施していく。

※接種会場までの交通手段の確保が困難な高齢者に対しては、会場までの送迎手段を確保する。

※1日に接種する件数を5の倍数となるようスケジュールを作り、「基本型接種施設（保健福祉センター）」にワクチンを発注、受け取る必要がある。

その他

ワクチンを無駄にしない取り組み

- ワクチンの取扱い上の注意（使い切る期間など）については、資料等を作成し、各医療機関に周知徹底をする。
- 個別接種となる診療所等には、バイアル（瓶）ごとの接種回数の端数など、接種されないままとなるワクチンが発生しないよう、接種は予約制とする。
- **1 バイアル 5 回分**なので、1日の予約数は5の倍数とする。
※今後1バイアル6回分になる予定のため、途中から6の倍数に変更。
- 当日キャンセルに備え、下記の方法等により、廃棄されるワクチンの発生を抑制する。
 - ① 接種の待機者（早急な接種を希望する者、翌日以降の予約者）に連絡し、接種する。
 - ② 優先接種区分にかかわらず接種する。

新型コロナウイルスワクチンに関する相談・広報体制

- 町民からの問い合わせ・相談については、
コールセンターを設置し対応する。（4月1日設置）
- 町民への周知・広報
広報しみず
清水町ホームページ
防災無線
新聞折込みチラシ